

一般質問

鈴木 立
議員

○防災行政無線設置の効果的設置について

質 防災は命に直結する非常に大事なことである。最近では地球温暖化に伴う想定外の大惨事が起こり、尊い人命、財産、里山集落全てに壊滅的被害が起きている。近年は三世代家族から核家族生活を営む家庭が多くなっている。生活リズムもそれぞれ違っている中で、同じ屋敷の中に母屋と部屋とに別々に家庭を営む家族には個々に防災行政無線を配分設置しなければ万全なる防災政策とは言い難い。市長の判断を伺いたい。

市長 世帯に1台ずつ配布しているのが現状です。複数の自宅等においても設置できるように松浦市防災行政無線固定系戸別受信機設置管理要綱の運用の見直しを行いたいと思います。加えて、ハザードマップなどを配付し周知を図っています。また、防災行政無線のデジタル化に伴ってつくった防災アプリや、同時に配信できるようにしたフェイスブック、ツイッターなどSNSも活用したいと思っています。それを活用していけるような周知を引き続き行い、市民の防災意識の高揚と、安全・安心の確立に努めていきたいと考えています。

○松浦中央病院利用者へ寄り添う配慮について

質 松浦中央病院が開院され、市民の健康に大変な貢献がなされていることに心から感謝しております。前にも質問をしましたが、病院施設周辺が利用者への配慮が十分にはなされていない。駅前バス停から歩くのは大変だから病院入口近くにバス停をと質問したが、陸運局が許可しないとのこと。病院中央玄関から処方箋と買物袋を両手に大きく腰を曲げた高齢者が金網柵の端まで歩いて前の薬局にたどり着くことは、患者の方に限りなく寄り添う対応とは程遠い。建設当初になぜ配慮ができなかったのか。

健康ほけん課長 松浦中央病院の前の駐車場に張られている金網の一部を開けて薬局との間にスロープを設けてもらえないかという声があるということと確認したところ、松浦中央病院としては、周囲には複数の民間の薬局があることから、一つの薬局に対してのみ便宜を図ることになるため改良は難しいとのことでした。また、松浦中央病院は、駐車場も含む全ての施設がJCHO地域医療機能推進機構本部の所有財産であって、JCHO自体も厚生労働省の外郭団体であることから、国の許可を得る必要があるということで、施設改良は非常に困難という回答でした。

一般質問



徳田 議員

○農業生産資材価格高騰対策について

質 農業生産資材価格高騰対策を国、県、市はどのように取り組まれているのか。

農林課長 国では肥料価格高騰対策事業として、5名以上で組織する生産者グループが化学肥料の2割低減に取り組む場合、肥料コスト上昇分の約7割を支援する事業を開始されており、詳細が示されたら、市としても県や農協等の関係機関と調整の上、早い段階で生産者の皆さまに周知できるように取り組んでいきます。また、県においては、肥料価格高騰の長期化に備えて、施肥量の低減に資する農業用機械等の導入支援に取り組んでいます。

質 地方創生臨時交付金を活用してプレミアム商品券のJA版など全農家の救済ができないか。

農林課長 過去4回実施したプレミアム商品券事業では、農業資機材を取り扱っている、ながさき西海農業協同組合での利用が可能であったことから、今後もプレミアム商品券事業を実施する場合には、農業資機材購入にも利用できる旨の周知を農協等の協力を得ながら農家の方に図っていきたいと考えています。

○学校跡地の活用について

質 令和3年12月議会で支所と公民館機能を統合し、建て替え設計は令和3年度から7年度に取り掛かる。昨日の回答では令和12年度までと後退している。なぜか。

市長 公共施設の維持管理計画の中で、令和3年度から7年度までの前期で設計を行って、令和8年度から12年度までの後期で建設を行うということです。

質 福岡の西方沖地震、福島小學校解体工事で支所の崩壊危険度が増した。市長は確認したのか。

市長 その外側の外壁がつく前の状況は見ています。

質 防災施設の消防鷹島出張所を令和5年度に計画すること。福島支所は防災拠点で15年も古い。順番が逆ではないか。

市長 防災施設であり、救急車等の出動等にも将来影響があるということとであったので、優先順位としてはまず防災施設が大切であるということから、先にそちらを造るということにしたものです。

このほかに、「肉用牛振興対策について」「水産業生産資材価格高騰対策について」「公共工事入札制度について」質問しています。